

■ サマリア

紀元前930年ソロモン王が死んだ後、イスラエルは南のユダと北のイスラエルに分裂しました。イスラエルの分裂の時代に南ユダの首都はエルサレムで、北イスラエルの首都は途中からずっとサマリアという都市でした。しかし、南北に分裂して約200年後、北イスラエルはアッシリア王国の植民地になりました。この時期に大勢の外国の人々がサマリアに移り住むようになったのです。サマリア地方の人々は純粋なイスラエルの血統ではなくなりました。また彼らの信仰もイスラエルの信仰とは違うものになってしまいました。

それで、ユダヤ人はサマリア人を汚れていると思いました。そして、ユダヤ人とサマリア人の間には敵対心のようなものがありました。

■ メッセージのポイント

多くの人々がバプテスマを受ける為にイエス様のところに集まると、敬けんで宗教熱心なパリサイ人たちがイエス様を警戒するようになりました。それで、イエス様は弟子たちと一緒にガリラヤ地方へ向かいました。イエス様はサマリアを通過して行かなければならなかったのです。

イエス様はあるサマリアの女性の霊的渇きを満たすために、3つの事をしてくださいました。

(1) イエス様は、サマリアの女性のところに尋ねて行きました。

(2) イエス様は、サマリアの女性に神の贈物を伝えました。

(3) イエス様は、その女性に内面の問題を自覚させました。